

さわやかさん

厳島神社（広島県）



参加者
募集!

- 生きがい^{ナビ}NAVI ①
マレットゴルフでまちづくり
自然と共に、生きて・暮らして vol.1 ③
木の上から世界を見れば
悩みがちっぽけだと気づくよ
ジョン ギャスライトさん
魅力発見 日本の世界遺産 ⑤
厳島神社・原爆ドーム
元気でやっています! ⑦

- 生きがい講演会 ⑨
読んで声出す「脳の若返り術」
フォレストヒルズ さわやかクラブ ⑪
大人のテーブルマナー講座～和食編～
応援しよう! トヨタスポーツ ⑫
長距離陸上部・バスケットボール部
お知らせコーナー ⑬
「公的年金等の源泉徴収票」は大切に保管を!
確定申告についての「お知らせとご注意」





自然と共に、
生きて・暮らして

ジョン ギャスライトさん
(全4回)

vol. 1

木の上から世界を見れば 悩みがちっぽけだと気づくよ

テレビ出演

BSフジ新春特別番組

「Earth Walker」第1弾

2012年1月2日(月)19:00~20:55

世界で一番大きな樹に登る
~アメリカ/カリフォルニア州~

NHK教育(Eテレ)

「モリゾーキッコロ森へいこうよ!」

土曜 7:15~7:30

(再放送/木曜 15:45~16:00)

準レギュラー出演中

など

プロフィール

ジョン ギャスライト さん(愛知県在住)

中部大学教授。1962年アメリカ生まれ。カナダで育ち、1985年に初来日。その後、日本人女性と結婚し現在は4人家族。ツリークライミングジャパン代表のほか、豊かな地球を次世代に残すための活動なども積極的に展開。ほかにタレント、コラムニスト、エコロジストなどとしても活動中。

みなさんは「ツリークライミング」をご存じですか。ツリー木、クライム登る。そう、簡単に言えば木に登ること。でも、手足だけで木によじ登るわけではありません。専用のロープやサドル(安全帯)、安全保護具を使って木に登り、自然を体全体で感じながら樹上からの眺めを楽しむこと、これが「ツリークライミング」と呼ばれるものです。専用の道具を使うため、子どもはもちろん、シニア世代、ハンディキャップをもつ人も挑戦できるのが大きな魅力です。

そのツリークライミングを日本に広めた第一人者として知られるのがジョン ギャスライトさん。ジョンさんはツリークライミングの専門家であると同時に、農学博士、エコロジスト(生態学者)、タレント等とさまざまな顔をお持ちです。

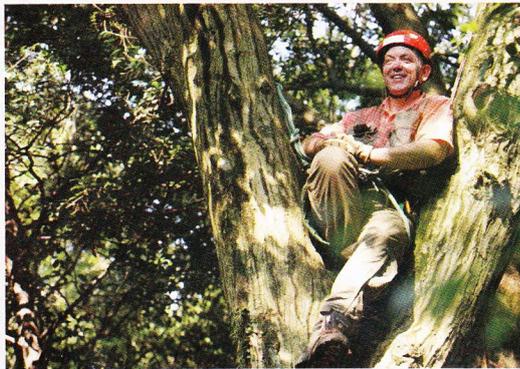
「自然と共に、生きて・暮らして」では今号から四回に渡り、自然と共に生きる楽しさや工夫、自然を次世代につなげることの大切さ、などをお伺いします。



ジョンさんの自宅には、味噌を仕込むために使われていた大きな樽が利用されています。



ジョンさんのおじいさまと、3歳ごろのジョンさん(向かって右)。左はジョンさんの弟。



©ジョンギヤスライト事務所

「木の上から地上を見下ろす気分は最高!多くの人に、この、地上とは違う視点を体感して欲しいですね」

日本の最初のつながり それは、海岸に流れ着いた下駄

「僕はアメリカ生まれのカナダ育ち。バンクーバーからフェリーで一時間半くらいくらいいところにある、大きな島に住んでいました。四国と同じくらいの大きさの島です。

海に囲まれている島だから、世界中からいろんなゴミが海岸には流れ着く。僕が子どもの頃は、日本からのゴミが一番多かった。

そんなゴミの中で見つけたのが、木でできた下駄。もちろん、海を渡ってきたから鼻緒は取れた状態。それを拾ってお父さんに見せたら『ブックエンド(本立て)だね、これは』って。それを信じて、僕は下駄を本立てとして、ずっと使っていたんですよ(笑)。

ある日、テレビで日本の侍の時代を再現する番組を観ていたら、侍がそのブックエンドを履いているじゃない!?これにはびっくりしました。すでにその頃、日本にはとても興味がありました。その番組を観て、さらに強く、この下駄を履いている人がいる国『日本』へ行きたい、と思うようになったんです。」

おじいちゃんの教えが ツリークライミングのきっかけに

「樹上の世界の素晴らしさを知るきっかけをつくってくれたのは、僕のおじいちゃんでした。まだ僕が小さかったころ、家族や学校の問題で悩んでいたとき、おじいちゃんは『木の上へのぼってごらん。違う視点から下を見たら、今まで大きいと思っていた問題も小さく感じるものだよ』と教えてくれたんです。

それは本当でした。そこから見る地上はいつもとはまったく別のものでした。木の上からの眺めは最高!そして視点を変えることで、世界は大きく変わるんだと実感できました。

そんな違った視点の世界をたくさんの人に体感してもらいたくて、現在、仕事のひとつとしてツリークライミングを広める活動をしています。ツリークライミングでは、専用の道具を使用するので、年齢や性別を問わず樹上の世界を体感できます。これまでも、シニア世代の方や車いす生活をしている六十歳代の方が挑戦したこともあります。視点の変化は感動することにもつながります。そんな気持ちをぜひ、多くの人に味わって欲しいですね」

ジョンさんの 自然と一緒に

「自然の中に出かける」と聞くと、ちょっと大変そう。でも、町の中のちょっとした公園だって、十分自然は楽しめます。日本ではそれほど見かけませんが、海外では公園で編み物や読書をする人がたくさんいます。お弁当をもって出かけ、太陽の下で食べるととてもおいしく感じます。公園でお散歩するだけ、なんてもったいないですよ!



ツリークライミングにはさまざまな世代の方が挑戦されています。

次回のお話は...

今回は、ツリークライミングを通じて感じる自然の魅力、そして体験方法などをご紹介します。